

報道資料

平成 27 年 10 月 28 日

子育て支援企業の J P ホールディングス (証券コード 2749)

親子で楽しめる子どものつまずきサポートブック

『「どうしてそうなの？」と感じたときに読む本』

11 月 11 日に P H P 研究所から発行

保育園、幼稚園——子どもが最初に出会う「集団生活」の場。子どもたちは保育園、幼稚園でどんな生活をしているのか。子どもは初めての「集団生活」の場で様々なつまずきを体験します。この本の前半では、様々なつまずきを絵本にしてわかりやすく取り上げます。

*** うちの子は園で朝の支度(タオルやコップを出し、荷物をロッカーに入れる)ができない**
*** うちの子は先生の話聞いていない * うちの子はほかの子どもと遊べていない e t c**

本の後半では、そうした子どものつまずきの「どうして？」を解き明かします。何故つまずいているのか。理由がわかったら、お父さんお母さんは家庭で子どもをどうサポートしたらよいのか——それが見えてきます。

この本を企画・編集したのは保育所運営最大手の株式会社 J P ホールディングス (荻田和宏代表取締役・東証 1 部) グループの株式会社日本保育サービス・発達支援課のメンバー。発達支援課は子ども、保護者、そして保育園、放課後児童施設などの現場サイドを巡回して、子どものつまずきを解決するサポートをしています。発達支援課は、本来、発達障害などの調査・支援を使命とした部署。日本保育サービスは 159 施設の保育所を運営していますが、在籍児童 11,203 名のうち発達支援対象児は 1,207 名 (10.8%)。発達支援課に寄せられる保護者、あるいは保育者から悩みや相談を受け、保育園や幼稚園と家庭をつなぐことが必要、と考えたのがこの本をつくるきっかけとなりました。

価格は 1,200 円 (税別)、P H P 研究所から 11 月 11 日に発行されます。

報道各位からの問い合わせ先
(株) J P ホールディングス東京支社
社長室 楚山・小倉
TEL 03-5332-7888
FAX 03-5332-7889

子どものつまずきの「？」に答えます！

毎朝の支度に時間が
かかりすぎる気がする
のですが…

落ち着きがなく、すぐ
どこかへいってしまう
のはどうして？



「どうしてそうなの？」と 感じたときに読む本



親子で楽しめる 子どものつまずき サポートブック

〔編著〕 株式会社日本保育サービス
発達支援課 調査研究チーム

〔監修〕

汐見稔幸 (白梅学園大学学長)

稲田尚子 (東京大学大学院教育学研究科教育科学研究員)

PHP

11月11日
発売

園に行くと、お友達と
あまりしゃべらない
みたいで…

給食をほとんど
食べていない
ようなのですが…



A5判 / 80頁 / 定価 1,200 円 + 税 / 発行: PHP 研究所 / イラストレーション: 清水俊博

集団行動の中で起こりやすい“つまずき”の理由を解説し、
家庭でできるサポートのヒントをお伝えします。

この本の使い方

- 1 園での1日の様子が描かれた「お話」部分を読みます 保護者が読んで良いですし、お子さんと一緒に読んで会話のきっかけにすることもできます。
- 2 「お話」で描かれたつまずきの理由のうち、どれが当てはまるのかを考えます お子さんの行動の背景にある本当の理由について、考えられるようにしています。
- 3 家庭でできるサポートのヒントを参考にお子さんのサポートを行います 園での保育者の取り組みを参考に、家庭でもできることを提案しています。

お近くの書店またはネット書店でお求めください